

2021年5月16日第3主日

Chofu Christ Church

礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈禱		
賛美	新聖歌 419	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	

聖書 Iサムエル16:1-13(p405)
 説教 「神は人の心を見る」
 園 謙慈 牧師

一斉祈禱		
献金	新聖歌 200	
感謝祈禱		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝禱		起立
後奏		起立

報告

●来週のメッセージ

- 【聖書】 使徒2:1~4
 【主題】 「聖霊による教会誕生」
 【説教】 園 謙慈 牧師
 【新聖歌】 132 133

今週の聖句

《人は外の顔を見、神は心を見る》
 「しかし主はサムエルに言われた、『顔かたちや身のたけを見てはならない。わたしはすでにその人を捨てた。わたしが見るところは人とは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る。』」
 Iサムエル16章7節

- 本日の礼拝後の予定
- 今週の予定
 - ◎聖書通読 17日(月)ー23日(日) I列王7-13章
 - 武道宅 19日(水) 14:30
 - 祈禱会 20日(木) 休会
 - 5/23日(日)の予定
 - 主日祈禱 10:00 賛美タイム ー
 - ペンテコステ礼拝式 11:00

礼拝式説教要約 【悔いる心、従う心】 サムエル記上15:17~26

アマレク人は、イスラエルの南に住む遊牧民。士師記の時代もイスラエルを苦しめた。聖絶(絶滅)すべき理由は申命記25:17-19にある。サウルは主に従うつもりだったが結果は違った。サウルが良い羊や牛を持ち帰ったのは欲のため。アガク王を連れ帰ったのは、戦勝記念碑を建てたのと同じ動機で、名誉欲。今回の命令は、主がサウルに与えたやり直しの最後のチャンスだったが彼は失敗した。失敗の責任は取らずに民のせいにし、責任転嫁をした。最良の家畜も敵の王も惜しまずに聖絶したなら、それが主への礼拝行為となった。何も持たずに帰ることが、最も多くを得る道だった。その結果22-23節。聞き従うことは、生贄にまさるのである。サウルが神の言葉を退けたので、主はサウルを王位から退けた。王位失脚の言葉に驚き、サウルは詫びたが、その動機は、民の前で面目を保つためであった。私たちはサウルに似ている処があるのではないかと。失敗を他人のせいにするのがあり、同じ失敗を繰り返すことがあるのでは。人に見える部分は取り繕い、神の前での自分をなおざりにしているようなところがあるのではないかと。神の御声、内なる声に聞き従うことは何よりも尊いのである。

主は全能者で、悔いることがないと言われているが、その一方で、主は悔いら

れたと書いてある。29節と35節を比べてみる。悔いるという言葉は、ヘブル語でナハムで、悔いる、悲嘆に暮れる、悲しむという意味。矛盾なのか。悔いるはずのない神が、サウルのことを悔いて、心を痛まれているという表現だと理解する。神はサウルを誰よりも深く愛しておられたのである。真の神は、多くの人に裏切られ、「悔いる」つらさを知っておられるが、それでも信頼してくれる。それが神の愛。そんな神に対して、主なる神を大切にしていることを行動で示し、真心をこのお方に伝えようではないか。

◎人の評価よりも、神に聞き従うことを優先しようではないか。また何度裏切られたとしても、神はあなたを愛し続けておられる。悔いる心、従う心は何よりも価値がある。神の愛によって、そのことに気づかせていただく。